

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	夜間帯は職員が1名の為、災害時の非難誘導に不安がある。	昼夜問わず、利用者が避難できる方法を職員に周知徹底するとともに、地域との協力体制を築く。	年2回の避難訓練において、1回は夜間を想定して行う。 地域住民と非常災害時の連携における協定を結ぶ。	3ヶ月
2	33	重度化に向けた指針は示しているが、具体的な取り組み例がなく、本人・家族ともはっきりとした方針について話し合いを持っていない。 職員も看取りについての意識があまりない。	重度化や終末期に向けて、本人・家族と話し合いを持ち、重度化指針を基に、事業所の出来ることについても十分に説明していく。	ご家族には、面会時にその入居者の現状をお伝えしながら、終末期に向けた方針について話をしていく。 職員については、重度化や看取りについての外部研修への参加や内部研修を行い、意識を高めていく。	12ヶ月
3	40	食事の準備・調理は厨房職員が行っており、利用者が携わることがない。	食事の準備・調理に拘らず、利用者が出来ることを引き出し、役割を持って生活していただく。	お茶を入れていただいたり、テーブルを拭いていただく等、すぐに取り組めることから行っていく。 おやつ作りの回数を増やすと共に、副菜の1品を受け持って作ったり、野菜の下処理等を手伝っていただく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月